



株式会社シャルレ 〒654-0192 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
TEL 078-792-7000(代表) <http://www.charle.co.jp/>

株主のみなさまへ
第43期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885



株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに当社第43期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

シャルレは創業以来、美と健康をテーマにした“ものづくり”に取り組んでまいりました。

商品を通じて人々の生活を豊かに幸せにするという信念を持ち、シャルレにしかできない“ものづくり”で、社会にとって、女性にとって「ずっと寄り添い続けるシャルレ」を目指し、新たな価値を追求し続けています。

平成28年4月に策定し、積極的に推進してまいりました4か年の中期経営計画ですが、売上高の2期連続減少や配送料金値上げによる物流コストの増加など、当社を取り巻く経営環境はより厳しさを増しております。そのような環境変化に対応し、課題解決に確実に取り組むために、中期経営計画を見直すこととしました。

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

新たな中期経営計画は、現在検討を進めており、策定次第、公表してまいります。

次期事業年度におきましては、高付加価値商品の売上拡大を図るとともに、新規事業の開拓・拡大に積極的に取り組んでまいります。

今後も、更なる企業価値と業績の向上を目指し、株主のみなさまのご期待にお応えすべく努力を続けてまいります。

株主のみなさまには、さらなるご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年6月
株式会社シャルレ 代表取締役社長

奥平 和良



『わたしたちの誓い』

女性を元気にする日本一のグループへ

わたしたちは
シャルレらしい「もの」
わくわく、笑顔になれる「こと」
生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」に
こだわり続けます。

そして、女性と共に生き
地域や社会の発展に貢献していきます。

通期業績報告

販売事業について

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が続ぎ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移しました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、国内市場の停滞が見られる中、個人消費は持ち直しつつも、アジア圏における人件費の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、中期経営計画に基づき、「販売組織の活性化」、「ビジネスメンバーと顧客との接点強化」、「商品開発の強化」、「収益性の改善」、「新規事業の開拓・展開」に積極的に取り組んでまいりました。

商品面について

衣料品類では、定番商品として、独自の特許技術を取り入れた設計により足運びをスムーズにして歩行をサポートするウエルネス商品である「軽快ウォーク

ボトム」を新たに発売しました。しかしながら、30代から40代層をターゲットにした主力商品である「美意識ブラジャー」については、2色のカラー追加発売を行った前事業年度に比べ、低調に推移したことから、ファンデーション全体の売上高は減少となりました。数量限定商品については、「シャルレ ドレッセ」よりシーズンに合わせて、カットソー、パンツ、カーディガン、ジャケット等を発売しましたが、低調に推移したため、アウター類全体の売上高は前事業年度を下回りました。



また、生活関連商品より、「あったか掛布団カバー」等を発売し、売上高は好調に推移しましたが、発売2年目となる「シャルレウエルネスタウンシューズ」、「冷感敷きパッド」、「冷感ピローパッド」が前事業年度を下回る販売実績となったため、生活関連商品全体の売上高は前事業年度を下回りました。以上の結果、衣料品類全体の売上高は133億38百万円(前事業年度比4.7%減)となりました。

化粧品類では、定番商品として、アルカリ還元水でメイクを落とせる「エタリテ クレンジング ローション」を新たに発売しました。また、数量限定商品として、「シャルレ セルフィア」ブランドより「クリアホワイト」の夏用限定セットを発売するとともに、「エタリテ」ブランドより「エタリテ オーラマージュ」のプレミアム限定セットや「エタリテ オーラマージュ クリー

ムG」を発売し、売上高はいずれも好調に推移しました。しかしながら、既存定番商品の売上高が減少したため、化粧品類全体の売上高は26億30百万円(前事業年度比3.2%減)となりました。

健康食品類では、睡眠の質の向上をサポートする機能性関与成分GABAを配合し、当社初の機能性表示食品として「すやさぽGABA」を新たに発売しました。また、コラーゲンとミネラルで構成された成分等を配合した、身体を支える力をサポートする「こつこつボーン」を新たに発売しました。平成29年2月より特約店向け「定期お届け便」を導入したことや、メイト会員向け「定期お届け便」の利用者増加により、既存定番商品の売上高が好調に推移しました。これらの結果、健康食品類全体の売上高は10億94百万円(前事業年度比24.4%増)となりました。



営業施策面について

ビジネスメンバーの育成強化を目的とした「新インセンティブ制度」を平成29年4月より運用開始しました。また、ビジネスメンバーが活動しやすい環境を提供するために「シャルレ スマイル プロジェクト2020」を掲げ、当事業年度については、新規メイト会員の増加を目的とした「試着会促進策」を実施するとともに、ビジネスメンバーが顧客より使わなくなったブラジャーやガードルを回収し、繊維製品に再生するための資源等へリサイクルする社会貢献活動に取り組みました。さらに、ビジネスメンバーの活動意欲を喚起するため、「シャルレ チャレンジコンテスト2017」を平成29年9月から11月にかけて実施しました。

通信販売の「シャルレダイレクトサービス」におきましては、訪問販売と融合したビジネス活動を推進するために、既存会員のリピート率の向上を目的とした販促キャンペーン等を実施したことにより、受注件数が増加しました。

平成26年9月に大阪心斎橋に出店しました直営店「シャルレ・ザ・ストア」におきましては、訪問販売におけるビジネスメンバーの活動をサポートする目的で運営してまいりましたが、ビジネスメンバーの活用状況や新規顧客の獲得状況に対する店舗運営コストなどを総合的に判断し、平成29年12月をもって閉店しました。なお、閉店に伴う原状回復費用およびその

他諸費用を特別損失として65百万円計上しました。

中期経営計画の一環として、「女性の美と健康」をテーマに取り組んでいる新規事業におきましては、高齢者向け住宅の紹介事業である「カーネーション」のテスト運営を平成29年3月より行っております。また、平成28年6月よりテスト運営を行っておりました女性専用サロン事業の「モアレジーム」におきましては、当初の計画目標を大幅に下回ったことなどから、平成29年10月末をもって事業撤退しました。なお、これによる当事業年度における業績に与える影響は軽微であります。

業績について

これらの結果、当事業年度における当社の売上高は、健康食品類は前事業年度を上回ったものの、衣料品類および化粧品類の売上高が低調に推移したことなどが影響し、175億10百万円(前事業年度比3.1%減)となりました。利益面につきましては、平成29年9月からの配送料金の値上げが大きく影響しましたが、経費削減に取り組み、営業利益は5億37百万円(前事業年度比18.0%減)、経常利益は5億58百万円(前事業年度比17.9%減)となりました。当期純利益は税金費用が減少したため3億24百万円(前事業年度比17.3%増)となりました。

中期経営計画について

当社は、平成32年3月期に売上高を194億円、売上高営業利益率を5%以上とすることを経営目標として、その達成に向けて中期経営計画（平成28年4月～平成32年3月）を策定し、推進してまいりました。

その取り組み状況および結果は以下のとおりです。

①販売組織の活性化

ビジネスメンバーの活動意欲の向上・活動の継続性を高めるために、「シャルレ スマイル プロジェクト 2020」の実施や「新インセンティブ制度」の本格的な運用を開始し、推進強化を図ってまいりました。「シャルレ チャレンジコンテスト2017」におきましては、入賞者数が前事業年度実施分よりも増加するなど、一定の成果が表れました。しかしながら、「試着会促進策」や「新インセンティブ制度」におきましては、当社を取り巻く経営環境の変化に対応できず、新規育成人数は前事業年度を下回り、売上拡大に繋げることができませんでした。

②ビジネスメンバーと顧客との接点強化

インターネット等で通信販売を行っている「シャルレダイレクトサービス」および当社の直営店であ

る「シャルレ・ザ・ストア」のインフラを効果的に活用し、訪問販売と連携することで、メイト（消費者会員）との関係を深め、強固なものとし、既存顧客の定着化を図るとともに、新規顧客の獲得・拡大を行ってまいりました。結果として、通信販売については、メイト向けの「定期お届け便」の推進や新規会員の獲得策を実施することにより、会員人数や受注件数が大幅に伸長し、売上高は増加しました。他方、直営店は、ビジネスメンバーの活用状況や新規顧客の獲得に対する店舗運営コストなどを総合的に判断し、平成29年12月をもって閉店しました。

③商品開発の強化

高機能・高付加価値商品を開発することにより、女性の美と健康をサポートするものづくりを推進してまいりました。特に、化粧品や健康食品など、リピート性の高い商材を拡充することによって、定期的な購入に繋げ、売上と利益の拡大を図ってまいりました。商品開発におきましては、衣料品類では、特許技術を取り入れた機能性の高いウエルネス商品を開発し、当事業年度に発売しました。化粧品類では、基幹商品であるスキンケアシリーズの次期事業年度のリニューアルに向けて、商品開発に取り組んでまいりました。健康食品類では、当社初となる機能性表示食品を発売しました。また、化粧品類の売上高は前事業年度を下回ったものの、健康食品類

では、「定期お届け便」制度の効果も相乗し、売上高は前事業年度を上回る結果となりました。

④収益性の改善

中長期的に増加が見込まれるコストを構造的に抑制し、収益性の改善を図るために、経常的な経費削減の取り組みを実行してまいりました。しかしながら、配送料金の値上げに伴う物流コストが大幅に増加したため、利益等への影響を大きく受けました。それに加え、売上高の減少もあり、当事業年度における収益性の改善には至りませんでした。

⑤新規事業の開拓・展開

前事業年度より、新たな事業の探索・開発に取り組むとともに、女性専用サロン事業および高齢者向け住宅の紹介事業のテスト運営を行ってまいりました。なお、女性専用サロン事業におきましては、当初の計画目標を大幅に下回ったことなどから、平成29年10月末をもって事業撤退しました。

次期の見通しについて

当社は、前述のとおり、中期経営計画（平成28年4月～平成32年3月）を積極的に取り組んでまいりましたが、売上高が2期連続減少となったことに加え、物流コストの大幅な増加によって、利益への影

響を大きく受けることとなったため、中期的な収益構造の見直しが優先的な課題となりました。

当事業年度の結果を受け、経営環境の変化に柔軟に対応し、課題の改善及び解決に確実に取り組むために、中期経営方針、中期経営計画および中期経営目標の見直しを行うこととしました。新たな中期経営方針、中期経営計画および中期経営目標につきましては、策定次第、遅滞なく公表してまいります。

このような厳しい経営環境の中で、次期事業年度におきましては、化粧品類、健康食品類を主とした高付加価値商品の売上拡大によって、収益率の向上に取り組むとともに、新規事業の早期の開拓および拡大に積極的に取り組んでまいります。

また、次期（平成31年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高175億15百万円（前事業年度比0.0%増）、営業利益1億円（同81.4%減）、経常利益1億10百万円（同80.3%減）、当期純利益50百万円（同84.6%減）を予想しております。

（単位：百万円）

	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 目標
売上高	18,068	17,510	17,515
営業利益	654	537	100
売上高 営業利益率	3.6%	3.1%	0.6%

お届けします！ 歩きたくなる、新発想ボトム。

Charle Wellness
シャルレウエルネス

「歩くことは健康に良いと分かっているけれど、“歩く機会が減っている”、“歩くのが苦手”」と感じている多くの方に喜んでいただける、IW101「軽快ウォークボトム(9分丈)」がシャルレウエルネスから発売されました。その開発担当者に開発の経緯やシャルレならではのこだわりについてインタビューしました。



軽快ウォークボトム(9分丈) 開発のきっかけを教えてください。

福永 これまでのシャルレウエルネス商品では、膝や肩など身体の部位にポイントを絞った商品を開発してきました。ところがこのような商品は、身体の部位に悩みを抱えている方にはアピールできますが、そうでない方には興味を持っていただきにくいという課題がありました。

船橋 この課題に対して商品開発チームは、幅広いお客さまにアピールできる商品を手掛けることがビジネスメンバーのサポートにつながると考えました。そこで2013年、日常生活の中からテーマを掘り起こすために調査を行ったところ、「歩くことが大事だとは分かっているけれど、加齢とともに足腰が弱り、歩く機会が減った」「普段から、転んだり、つまずいたりするのが怖い」といった声が寄せられました。

その後も調査と検討を重ね、日常生活での基本的な動作の中で、より優先順位の高い「歩く」ことにテーマを絞り、毎日の暮らしの中で軽やかに歩く機会を増やし、これからも歩き続けたいような商品を手掛けることになりました。

この商品は、日常生活にどんな変化をもたらしてくれるのでしょうか。

船橋 近年の健康意識の高まりで、歩くことが健康に役立つことは誰もが知っていて、実際に健康対策として多くの人が挙げられています。ところがその一方で移動は車、階段ではなくエレベーターを使うなど、世の中が便利になるにつれて歩く機会は少なくなっているということも、多くの方が実感されていると思います。歩くことが健康に良いと分かっ

ていても、歩かない、続かないという方も多いのではないのでしょうか。

福永 軽快ウォークボトム(9分丈)は、身体の仕組みに基づいて、歩いたり、階段を使う際に、足運びが楽になる構造になっており、「気がついたらいつもより長く歩いていた」「エレベーターではなく階段を使うようになった」といった嬉しい声を聞くことができました。この軽快ウォークボトム(9分丈)は「歩きたい」という気持ちを後押ししてくれる頼もしい商品だと自信をもっています。

開発期間中、最も苦勞したことを教えてください。

福永 毎日、愛用していただくためには、着脱が楽にできて、着用感も快適であることが大切です。ところが軽快に歩く機能を高めるには、ある程度のフィット感が必要です。この相反する2つの要素の、最適なバランスを探り出すことが最も大変でした。専門家のアドバイスのもと、試作品を製作して、モニター検証や効果検証を行い、確認、改善、再試作を何度も繰り返しました。

また、素材と加工にもこだわりました。毎日愛用していただけるように、優しい風合いの綿混素材で、着用中に縫い目のあたりが気にならないよう、また、脱いだときに縫い目の跡が肌につかないよう、素材を縫い合わせるのではなく、特殊な接着加工「レジスタック®」を用いています。素材メーカーの方が手作業で一枚一枚、本体生地の上にパーツを重ねて接着するのですが、複雑な形をしたパーツを組み合わせるため手間と時間がかかります。素材メーカーからは「こんなに複雑な作業は初めて」と言われるほどでしたが、これこそがシャルレのこだわりなので、一切、妥協しませんでした。

年齢に負けない未来を応援する、こだわりの健康食品です。

身体を「支える力」を応援する、3つの成分。

いくつになってもアクティブに過ごせるよう、内側からサポートします。

コラーゲン含有
ミネラル複合体

身体の土台ケアのもととなる
I型コラーゲンと、
カルシウム・リン・マグネシウムなどの
ミネラル成分で構成された
魚由来の成分です。

2
卵黄蛋白
加水分解物

土台ケアを
サポートするために、
卵黄から抽出された
ペプチド成分です。

ビタミンD

健康維持のために、
カルシウムの
吸収率を高める
成分です。

足運びスムーズ！

骨盤の後ろ側から前側にかけてパワーネットを採用。骨盤の前後を段違いで支え、後傾しがちな骨盤を正しい位置で安定させて、スムーズな足運びをサポートします。(特許第6100426号)

POINT 02 | お尻の筋肉の働きをサポートする設計

歩幅をアップ！

骨盤の後ろ側から膝上と、内ももから膝上にかけて接着加工でパワーを持たせ、歩行時の後ろ脚をサポート。脚が上がりやすく前にも出しやすくなり、小股になりがちな歩幅を広げます。(特許第6100426号の付随技術)

POINT 03 | 膝まわりをサポートする設計

膝の曲げ伸ばし
ラクラク！

膝まわりからふくらはぎにかけて接着加工で
優しく支え、膝まわりを安定させることで、スムーズな曲げ伸ばしを
サポートします。(特許第6100426号の付随技術)

メリハリのあるパワー切り替え

【パワー強】パワーネット仕様(縫製)

パワーネット1重
+
身生地

パワーネット2重
+
身生地

パワーネット2重
+
身生地2重

ソフト ← → ハード

■〈パワー中〉特殊な接着加工「レジスタック®」

特殊な接着加工で複数の生地を自由自在に重ね合わせることができます。

裏地1重
+
身生地

裏地2重
+
身生地

ソフト

ハード

レッグ部は、特殊な接着加工「レジスタック®」を採用。伸びをおさえることでパワー切り替えを実現。縫い目がないので、着用時のゴロつき感も軽減します。

※レジスタック®はセーレン株式会社の登録商標です。

不安に焦点を当てています。軽快ウォークボトム（9分丈）は、今までにない発想の商品です。膝や腰の悩みは特になくても歩く機会が減っていると感じる方が「気がついたらいつもよりたくさん歩いていた」と驚き、さらに「もっと歩きたい」と思っていたきたい、という想いで開発しました。

開発担当者としてメッセージをお願いします。

福永 歩く動作を軽快にする設計理論があり、素材と製造手法にこだわり、毎日愛用していただける軽快ウォークボトム(9分丈)は、今と将来の美と健康への投資と考えていただける商品です。自信を持ってお客さまにお届けいたします。

船橋 モニター調査の際、着用したまま部屋の中を歩いてみたり、屈伸運動を始めた方がいらっしゃいました。軽快ウォークボトム（9分丈）は、縫い目がなく、レギンスのようにも使えるので、毎日の暮らしの中でぜひご愛用ください。

被災地への
災害支援

台風21号に伴う豪雨災害に対する災害支援物資をお送りいたしました。

2017年10月22日からの大雨により多くの方々が被害に遭われ、被災地域に対して災害救助法が適用されました。被害に遭われた地域の方々に対して心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を願っております。

当社は該当地域の状況を確認した後、11月4日に下記被災地に対して、災害支援として、自社商品をお送りしました。

●三重県 度会郡玉城町

財務諸表の概要

(注) 各財務諸表は主要な項目を表示しております。

貸借対照表

科 目	当期	前期
	平成 30 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日
流動資産	16,758	16,803
現金及び預金	12,367	12,408
売掛金	86	78
商品	3,810	3,670
貯蔵品	46	65
繰延税金資産	254	350
その他	203	243
貸倒引当金	△11	△13
固定資産	5,274	5,705
有形固定資産	2,498	2,550
建物(純額)	1,110	1,187
土地	907	907
その他(純額)	480	455
無形固定資産	851	858
ソフトウェア	837	843
その他	13	15
投資その他の資産	1,924	2,296
投資有価証券	520	1,034
前払年金費用	894	803
繰延税金資産	208	89
その他	306	374
貸倒引当金	△4	△5
資産合計	22,032	22,509

単位: 百万円			
科 目		当期	前期
		平成 30 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日
負債の部	流動負債	1,927	2,354
	買掛金	683	638
	未払金	797	836
	未払法人税等	70	326
	賞与引当金	222	223
	その他	154	330
	固定負債	611	615
	売上割戻引当金	189	198
	退職給付引当金	307	312
	その他	115	104
	負債合計	2,539	2,969
純資産の部	株主資本	19,511	19,559
	資本金	3,600	3,600
	資本剰余金	4,897	4,897
	利益剰余金	11,144	11,061
	自己株式	△131	△0
	評価・換算差額等	△18	△19
	その他有価証券評価差額金	△18	△19
純資産合計		19,492	19,540
負債純資産合計		22,032	22,509

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位: 百万円		
科 目	当期	前期
	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
売上高	17,510	18,068
売上原価	9,075	9,406
売上総利益	8,434	8,661
販売費及び一般管理費	7,897	8,006
営業利益	537	654
営業外収益	24	28
営業外費用	2	2
経常利益	558	680
特別利益	1	27
特別損失	65	41
税引前当期純利益	494	666
法人税、住民税及び事業税	193	303
法人税等調整額	△23	87
当期純利益	324	276

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円	
科 目	当期
	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
a 営業活動によるキャッシュ・フロー	175
b 投資活動によるキャッシュ・フロー	172
c 財務活動によるキャッシュ・フロー	△389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41
現金及び現金同等物の期首残高	12,408
現金及び現金同等物の期末残高	12,367

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ41百万円減少し、123億67百万円となりました。

a 営業活動によるキャッシュ・フローは、1億75百万円の収入(前年同期比84.7%減)となりました。主な要因は、税引前当期純利益4億94百万円、減価償却費及びその他の償却費4億31百万円、法人税等の支払額3億89百万円であります。

b 投資活動によるキャッシュ・フローは、1億72百万円の支出(同92.7%減)となりました。主な要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入5億14百万円、有形固定資産の取得による支出1億91百万円であります。

c 財務活動によるキャッシュ・フローは、3億89百万円の支出(同80.3%減)となりました。主な要因は、配当金の支払額2億41百万円、自己株式の取得による支出1億31百万円であります。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要・株式の状況

会社の概要

■ 概要 (平成30年3月31日現在)

社 名 株式会社シャルレ
本 社 所 在 地 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
設 立 昭和50年11月19日
資 本 金 36億25万円
事 業 内 容 レディースインナーを主体とする
衣料品、化粧品、健康食品等の販売
社 員 数 301名

■ 役員 (平成30年3月31日現在)

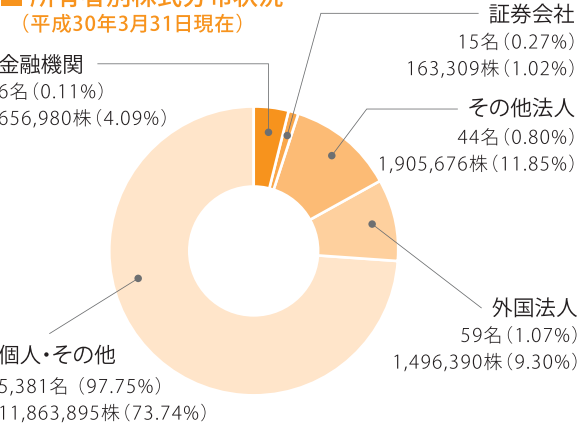
代表取締役社長 奥 平 和 良
取 締 役 平 山 修
取 締 役 出 口 みどり
取 締 役 奥 田 清 三
監査役 (常勤) 吉 田 金 吾
監 査 役 岸 本 達 司
監 査 役 井 出 久 美

株式の状況

■ 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 84,000,000 株
発行済株式の総数 16,086,250 株
株 主 数 5,505 名

■ 所有者別株式分布状況 (平成30年3月31日現在)



(注)所有者別株式分布状況については、自己株式を「個人・その他」に含めております。

■ 大株主 (平成30年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
林 雅 晴	1,508,925	9.53
(有) G & L	1,272,432	8.03
瀬 崎 五 葉	1,014,700	6.41
林 勝 哉	843,500	5.33
林 宏 子	797,699	5.04
林 達 哉	671,000	4.24
林 直 樹	618,225	3.90
(有) L a m ' s	556,150	3.51
INTERACTIVE BROKERS LLC	506,300	3.20
林 英 明	264,025	1.67

(注) 出資比率は、自己株式(250,101株)を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)
同 連 絡 先	
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載 URL http://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証 券 コ ー ド	9885

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】
<http://www.charle.co.jp/company/outline/governance.html>
【シャルレホームページ】
「シャルレホームページ」⇒「株主・投資家のみなさまへ」⇒
「コーポレートガバナンス」を選択

株式に関するお手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	
手続書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/	

(※)特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	